

安全データシート

1. 化学品および会社情報

◎ 化学品の名称	製品名	ウニポラス	製品コード	HS221
◎ 会社情報	会社名	北海道曹達株式会社		
	住所	北海道苫小牧市沼ノ端134-122		
	電話番号	0144-55-3788	FAX番号	0144-55-1193
	お問い合わせフォーム	https://hokkaido-soda.co.jp/contact/mail_form/		
◎ 緊急連絡電話番号	北海道曹達株式会社 営業部	0144-55-3788		
◎ 推奨用途と使用上の制限	推奨用途	使用上の制限		
	水質浄化用ろ過材	本データシート記載事項以外の特記無し		

2. 危険有害性の要約

◎ 化学品のGHS分類		
○ 物理化学的危険性		区分に該当しない
○ 健康に関する有害性		区分に該当しない
・ 急性毒性	・ 経口	区分に該当しない
	・ 経皮	区分に該当しない
	・ 吸入：蒸気	区分に該当しない
	・ 吸入：粉じん、ミスト	区分に該当しない
・ 皮膚腐食性/刺激性		区分3
・ 目に対する重篤な損傷性/眼刺激性		区分2B
・ 呼吸器感作性		分類できない
・ 皮膚感作性		分類できない
・ 生殖細胞変異原性		分類できない
・ 発がん性		分類できない
・ 生殖毒性		分類できない
・ 特定標的臓器毒性(単回ばく露)		分類できない
・ 特定標的臓器毒性(反復ばく露)		分類できない
・ 誤えん有害性		分類できない
○ 環境に対する有害性		区分に該当しない
・ 水生環境有害性 短期(急性)		区分に該当しない
・ 水生環境有害性 長期(慢性)		区分に該当しない
・ オゾン層への有害性		分類できない
◎ GHSラベル要素		
○ 絵表示またはシンボル	なし	
○ 注意喚起語	警告	
○ 危険有害性情報	・ 軽度の皮膚刺激	
	・ 眼刺激	
○ 注意書き		
- 安全対策(予防策)	・ 取扱った後、手、顔やばく露した箇所等をよく洗うこと。	
- 応急措置(対応策)	眼に入った場合 眼に入った場合、数分間目を付けて洗浄する。もしコンタクトレンズを装着して、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。 眼の刺激が続く場合、医師の治療を受けること。	
	皮膚(又は髪)に付着した場合 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。	
- 保管(貯蔵)		



直射日光を避け、吸湿防止の為、密閉して換気の良い屋内に保管すること。

ウニポラスは多孔質であることから脆く砕けやすいため外箱や本品に強い物理的的刺激を与えないこと。

－ 廃棄

- ・ 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に業務委託すること。

◎ GHS分類に該当しない他の危険有害性

- ・ ウニ殻由来の角や尖り、残留している可能性のあるウニの棘により手指などが傷つく可能性があるため、取扱い時には厚手のゴム手袋の着用を推奨する。
- ・ 本品の主成分は炭酸カルシウムであり、作用させた水を中性から弱アルカリ性にする働きがあるので、この条件に適さない水生生物に適用する水に対しては使用しないこと。

3. 組成及び成分情報

◎ 化学物質・混合物の区別 化学物質

◎ 成分・化学式、各種番号、含有量

成分	化学式	CAS番号	官報公示整理番号		含有量(%)
			化審法	安衛法	
炭酸カルシウム	CaCO ₃	471-34-1	1-122	公表	90%以上

4. 応急処置

◎ 吸入した場合

- ・ 鼻、口の中を水で洗浄しうがいをする。
- ・ 異常のある場合または気分が悪い時は医師の診断、手当てを受ける。

◎ 皮膚に付着した場合

- ・ 直ちに多量の水と石鹸で洗う。
- ・ 洗浄後も痛みのある時は、医師の診断を受ける。

◎ 眼に入った場合

- ・ 眼に入った場合、数分間目を閉じて洗浄する。もしコンタクトレンズを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。
- ・ 眼の刺激が続く場合、医師の治療を受けること。

◎ 飲み込んだ場合

- ・ 清浄な水で口の中をよく洗う。
- ・ 異常のある場合または気分が悪い時は医師の診断、手当てを受ける。

◎ 応急措置をする者の保護に必要な注意事項

- ・ 特になし。

◎ 医師に対する特別な注意事項

- ・ 特になし。

5. 火災時の措置

◎ 適切な消火剤

- ・ 周辺火災の状況に対して適切な消火剤を使用する。

◎ 使ってはならない消火剤

- ・ 情報なし

◎ 火災時に特有の危険有害性

- ・ 高温による分解により二酸化炭素を発生する。

◎ 特有の消火方法

- ・ 不燃性。
- ・ 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
- ・ 容器、周囲への設備などに散水して冷却する。
- ・ 消火活動は風上から行う。

◎ 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

- ・ 消防士は自給式呼吸器を必要とする。

6. 漏出時の措置



- ◎ 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
 - ・ 処理作業の際には、保護具（保護メガネ、防塵マスク、保護手袋、保護衣）を着用する。
- ◎ 環境に対する注意事項
 - ・ 飛散拡大の防止を図る。河川等に流入しないように注意する。作業場、排水系から外部に流出させないように回収する。
- ◎ 封じ込め及び浄化の方法・機材
 - ・ 粉塵が発生しないように、ほうきや掃除機で掃き取り、空容器に回収する。
- ◎ 二次災害の防止
 - ・ 情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

- ◎ 取扱い
- 技術的対策
 - ・ 必要に応じて保護具（保護メガネ、防塵マスク、保護手袋、保護衣）を着用し取り扱う。
- 安全取扱注意事項
 - ・ ウニ殻由来の角や尖り、残留している可能性のあるウニの棘により手指などが傷つく可能性があるため、取扱い時には厚手のゴム手袋の着用を推奨する。
- 接触回避
 - ・ 酸性の物質との混合を避ける。
- 衛生対策
 - ・ 取扱い後は、眼や手を良く洗うこと。
- ◎ 保管
- 安全な保管条件
 - ・ 湿気の少ない冷暗所に保管すること。
- 安全な容器包装材料
 - ・ 湿気を通さない容器包装材料を選定すること。
厚さの薄い袋は本品により破れを発生させる可能性があるため使用しないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

- ◎ 許容濃度等
- 管理濃度
 - ・ 設定されていない
- 許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)
 - ・ 日本産業衛生学会(2021年版)
設定されていない
 - ・ ACGIH(2021年版)
設定されていない
- ◎ 設備対策
 - ・ 特記無し
- ◎ 保護具

・ 呼吸用保護具	防じんマスク
・ 手の保護具	ゴム手袋
・ 眼、顔面の保護具	保護面、ゴーグル
・ 皮膚・身体の保護具	ゴム長靴、ゴム製保護衣

9. 物理的及び化学的性質

- | | |
|---------------------|--------------|
| ・ 物理状態 | 固体 |
| ・ 色 | 白色 |
| ・ 臭い | 無臭またはわずかな特異臭 |
| ・ 融点/凝固点 | データなし |
| ・ 沸点、初留点及び沸点範囲 | データなし |
| ・ 可燃性 | 不燃性 |
| ・ 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 | 不燃性 |
| ・ 引火点 | データなし |



・ 自然発火点	データなし
・ 分解温度	825°C(酸化カルシウムと二酸化炭素に分解)
・ pH	データなし
・ 動粘性率	データなし
・ 溶解度	水にほとんど溶解しない
・ n-オクタノール/水分配係数(log値)	データなし
・ 蒸気圧	データなし
・ 密度及び/又は相対密度	2.6-2.8
・ 粒子特性	不定形板状、粒径3-20mm
・ その他のデータ	データなし

10. 安定性及び反応性

- ◎ 反応性
 - ・ 通常の条件下では、安定である。
- ◎ 化学的安定性
 - ・ 通常の条件下では、安定である。
- ◎ 危険有害反応可能性
 - ・ 酸と反応して二酸化炭素を発生する。
- ◎ 避けるべき条件
 - ・ 高温多湿をさける。
- ◎ 混触危険物質
 - ・ 酸類
- ◎ 危険有害な分解生成物
 - ・ 二酸化炭素
 - ・ 酸化カルシウム
- ◎ その他
 - ・ 特記無し

11. 有害性情報

- ◎ 急性毒性
- 経口 ラット：LD₅₀ 6450 mg/kg [区分に該当しない]
- 経皮、吸入 引用文献の記載より、[区分に該当しない]とした。
- ◎ 皮膚腐食性／刺激性 皮膚刺激性 区分3
- ◎ 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 眼刺激性 区分2B
- ◎ 呼吸器感作性又は皮膚感作性
- 呼吸器感作性 データ無し
- 皮膚感作性 データ無し
- ◎ 生殖細胞変異原性 データ無し
- ◎ 生殖毒性 データ無し
- ◎ 特定標的臓器毒性(単回ばく露) データ無し
- ◎ 特定標的臓器毒性(反復ばく露) データ無し
- ◎ 誤えん有害性 データ無し
- ◎ その他 データ無し

12. 環境影響情報

- ◎ 生態毒性 炭酸カルシウムのナノ粒子で有害性を示さないことから、本品においても区分に該当しないとしている(引用文献の記載より)。
- ◎ その他の生物 データ無し
- ◎ 残留性・分解性 データ無し
- ◎ 生体蓄積性 データ無し
- ◎ 土壤中の移動性 データ無し
- ◎ オゾン層への有害性 分類できない
- ◎ 他の有害影響 データ無し

13. 廃棄上の注意

- ◎ 化学品(残余廃棄物)、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、またはリサ



イクルに関する情報

- 化学品(残余廃棄物)
 - ・ 都道府県、自治体の条例に従い廃棄する。
- 汚染容器及び包装
 - ・ 容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。

14. 輸送上の注意

- ◎ 国際規制、国内規制
 - ・ 規制に該当しない物質である。
- ◎ 輸送又は輸送手段に関する特別な安全対策
 - ・ ウニポラスは多孔質であることから脆く砕けやすいため外箱や本品に強い物理的刺激を与えないこと。

15. 適用法令

- ◎ 毒物及び劇物取締法
 - ・ 該当しない
- ◎ 労働安全衛生法
 - ・ 該当しない
- ◎ 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR 法）
 - ・ 指定化学物質に該当しない。

16. その他の情報

- ◎ 引用文献
 - ・ Calcium carbonate - ECHA
<https://echa.europa.eu/it/registration-dossier/-/registered-dossier/16050>



まじめに、未来を
HOKUSO
HOKKAIDO SODA CO., LTD.

安全データシート
北海道曹達株式会社
製品名：ウニポラス

制定：2020/12/1
改訂：2022/5/2
第2版

注意 記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので、取扱いには十分注意してください。